

《 平成 19 年 3 月期 決算短信参考資料 》

株式会社ビック東海 業績の推移

< 連 結 >

(単位：億円)

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
売 上 高	—	234	339	373
営 業 利 益	—	27	44	45
経 常 利 益	—	25	41	42
当 期 純 利 益	—	25	41	22

< 単 体 >

(単位：億円)

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
売 上 高	136	219	309	337
営 業 利 益	17	26	42	45
経 常 利 益	16	24	40	43
当 期 純 利 益	11	25	39	22

注) 1. 当社は、平成 17 年 10 月 1 日におけるトーカイコムとの合併に伴い、平成 18 年 3 月期第三四半期より連結財務諸表を作成しております。

2. 平成 20 年 3 月期にてトーカイコムより引継いだ青色繰越欠損金が解消するため、法人税等が計上されることにより、当期純利益では前年を下回る予想となっております。

3. 次期の業績予想につきましては、事業計画が数値化されているものについては織り込んでおりますが、現時点で入手可能な情報に基づき判断した計画であるため、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

もっとつながる明日へ
— Total Communication —



2007年3月期 決算説明資料

2008年3月期 業績予想説明資料

株式会社ビック東海(2306)

2007年5月10日



2007年3月期業績 2008年3月期業績予想

1. 2007年3月期決算の総括

2. 2007年3月期決算の詳細

3. 2008年3月期業績予想

1. 2007年3月期決算の総括

■ 当期の概況

当期は、国内ブロードバンド市場におけるFTTHサービスの増加、放送業界における地上波デジタル放送の普及、情報業界における企業ICT関連投資の増加等を背景として、各事業部門とも積極的に事業推進に取り組んだことで、当社上場以来過去最高の業績を収めることが出来ました。

売上高	33,924百万円	(前年同期比	144.8%)
経常利益	4,196百万円	(	// 163.5%)
当期純利益	4,112百万円	(	// 158.5%)
1株当たり当期純利益	102.74円	(	// 8.08円増)

以上によりまして、当社にご期待を寄せていただきました株主様の日頃のご支援に応えるべく、1株につき12.5円の間配当に加え、07/03期の配当として年間25.0円(06/03期 普通配当15円 合併記念配当2.5円 計17.5円)を予定しております。

今後も、配当につきましては業績に応じて安定的かつ継続的に行ってまいります。

2.－① 2007年3月期決算の詳細

損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	【 連結 】			【 単体 】		
	実績	前年同期	前年 同期比	実績	前年同期	前年 同期比
売上高	33,924	23,436	144.8%	30,960	21,972	140.9%
売上利益	13,343	7,895	169.0%	12,338	7,393	166.9%
営業利益	4,415	2,710	162.9%	4,266	2,609	163.5%
経常利益	4,196	2,567	163.5%	4,068	2,483	163.8%
当期純利益	4,112	2,594	158.5%	3,989	2,556	156.1%
1株当たり純利益	102.74円	94.66円	108.5%	99.64円	93.28円	106.8%
EBITDA	8,209	5,234	156.8%	7,280	4,751	153.2%

※EBITDA = 経常利益－受取利息+支払利息+減価償却費

2.－② 2007年3月期決算の詳細

セグメント別損益【連結】

	(単位:百万円)					
	CATV事業	CS事業	SIS事業	その他	消去又は 全社	連結
売上高	10,903	12,529	10,569	41	△ 118	33,924
(前年同期比)	(208.1%)	(139.6%)	(114.7%)	(132.5%)	—	(144.8%)
営業利益	1,749	1,895	1,691	23	△ 945	4,415
(前年同期比)	(175.2%)	(161.6%)	(132.5%)	(147.9%)	—	(162.9%)

2.－③ 2007年3月期決算の詳細

設備・リース投資

(単位: 百万円)

	CATV事業	CS事業	SIS事業	連結
設備投資額	3,108	1,325	833	5,266
リース投資額	1,263	144	149	1,556
計	4,371	1,469	982	6,822
減価償却費	—	—	—	3,791
リース料	—	—	—	1,847

3.－① 2008年3月期通期連結業績予想

	(単位:百万円)					
	CATV事業	CS事業	SIS事業	その他	消去又は 全社	連結
売上高	12,460	13,260	11,670	40	△ 80	37,350
(前期比)	(114%)	(106%)	(111%)	(100%)	—	(110%)
営業利益	1,510	2,360	1,690	20	△ 1,070	4,510
(前期比)	(087%)	(125%)	(100%)	(100%)	—	(102%)
経常利益						4,210
(前期比)						(100%)
当期純利益						2,240
(前期比)						(54.5%)
1株当たり純利益						55.92円
EBITDA						8,750

※EBITDA = 経常利益－受取利息+支払利息+減価償却費

3.－② 2008年3月期通期連結業績予想

設備・リース投資

(単位:百万円)

	CATV事業	CS事業	SIS事業	連結
設備投資額	7,500	1,090	3,950	12,620
リース投資額※	1,950	190	70	2,230
計	9,450	1,280	4,020	14,850
減価償却費	—	—	—	4,180
リース料	—	—	—	2,080

※投資額につきましては事業用設備に限定しております。

3.－③ 2008年3月期通期連結業績予想(件数)

		07/3期実績	07/9期予想	08/3期通期予想
CATV事業	放送	300千件	317千件	329千件
	内 デジタル 多チャンネル	(61千件)	(75千件)	(86千件)
	CATVインターネット	75千件	73千件	69千件
	CATV-FTTH	4千件	13千件	29千件
CS事業	直販計	222千件	233千件	243千件
	ホールセール計	171千件	165千件	159千件
	合計	393千件	397千件	402千件

中期経営ビジョン

当社グループは「“Total Communication for the Best” 2007－2011」を中期経営ビジョンに掲げ、「お客様からの信頼と私たちの情報・通信・放送の総合力を活かした豊かで安心できる情報社会へのチャレンジ」を目指し、役職員一丸となって中期経営計画の達成に取り組んでまいります。

“Total Communication for the Best” 2007-2011

当社グループの技術・開発力と企画・営業力を結集し、お客様に期待・信頼される「トータル・コミュニケーション」パートナーとして、地域社会に貢献してまいります。

- 将来に亘って成長し、全てのステークホルダーの満足と信頼を得るため

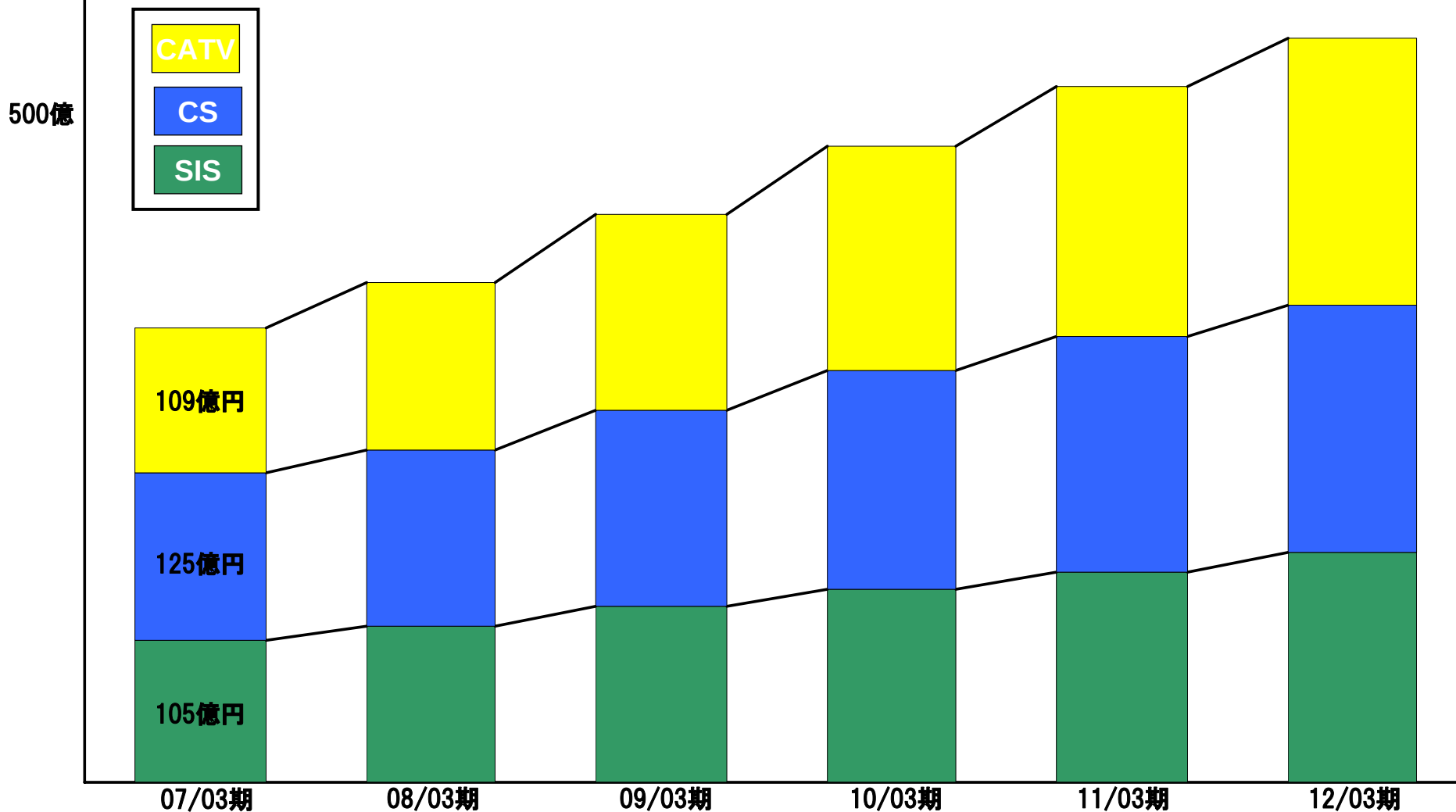
“中期利益目標” 『単年経常利益100億円』

“ステータス目標” 『東京証券取引所市場へ』

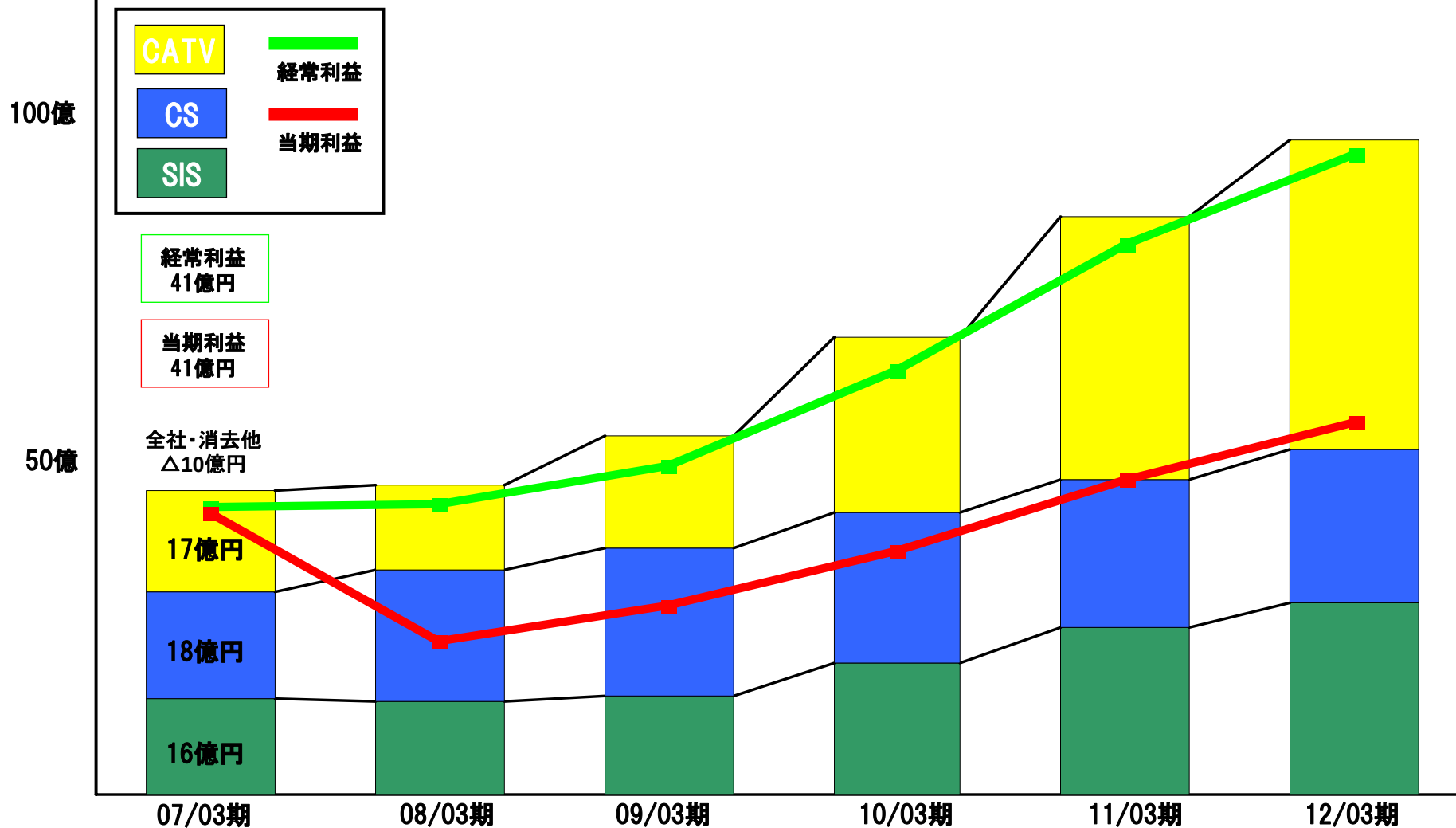
を目指す。

- CSRを果たすべく、内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンスの強化、徹底を図る。

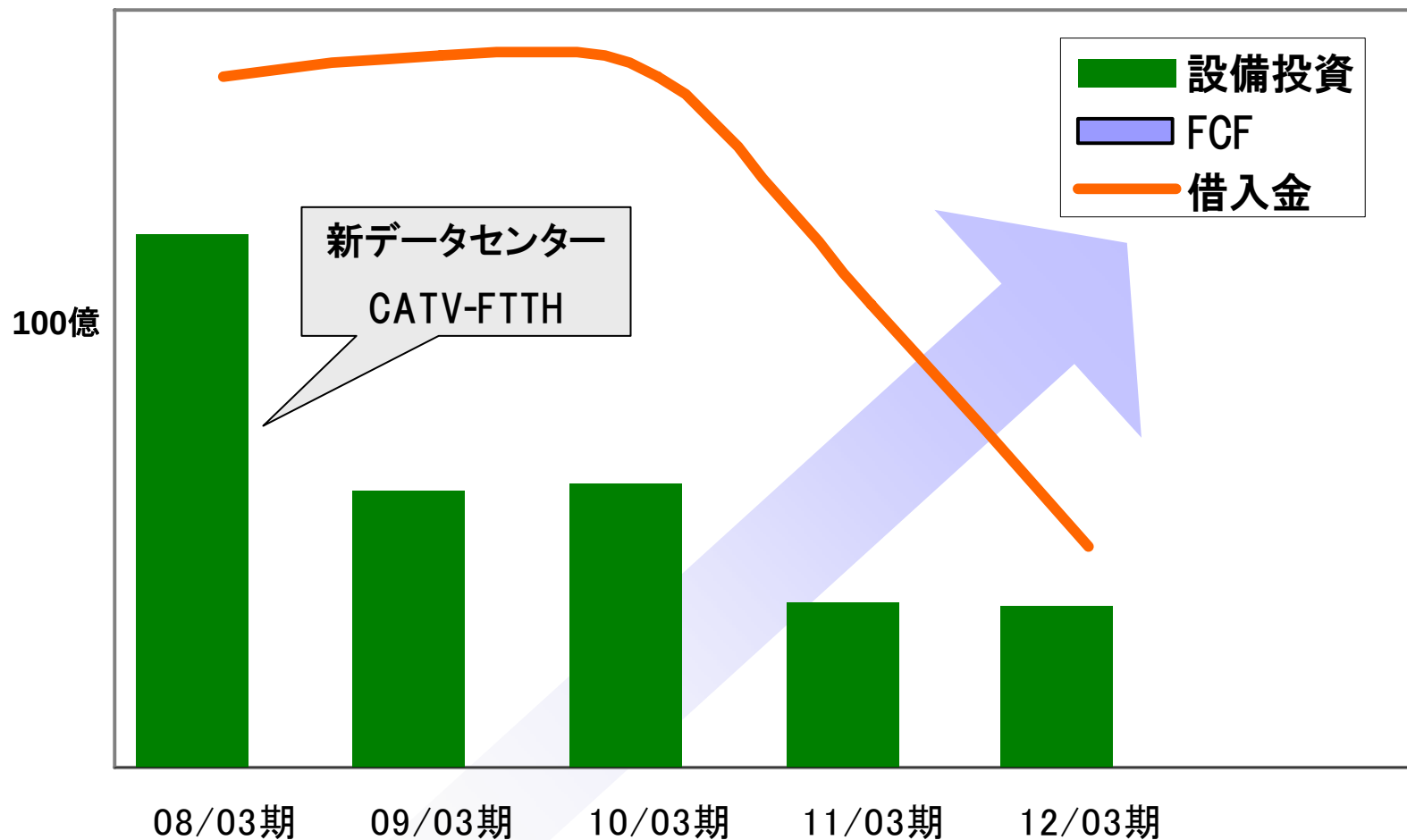
セグメント別売上高のイメージ



セグメント別営業利益、経常利益及び当期利益のイメージ



設備投資とフリーキャッシュフローの推移



基盤拡張期

積極的M&A
新データセンター設立
光幹線ファイバー敷設
CATV-FTTH

成長期

新基盤を背景とした
高品質且つトータルサービスの提供
顧客満足度向上
安定性収益の向上

.....更なる発展へ

CATV-FTTHの事業方針について

□CATV-FTTH顧客獲得目標

2007年度から2009年度の3年間で**10万件**獲得

□設備投資額(2006年度から2009年度累計)

投資 136億円 リース 29億円 **合計 165億円**

□営業利益目標

2011年度(12／3月期) **50億円**

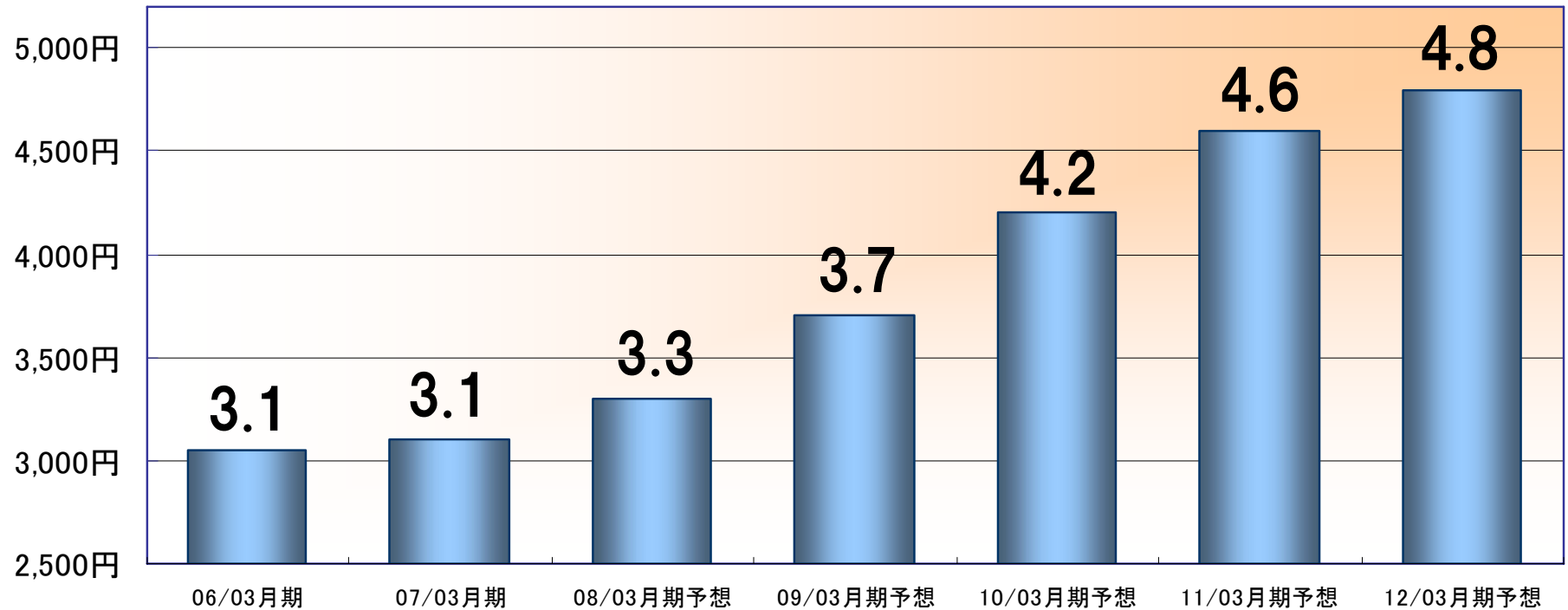
□CATVセグメントの営業利益推移予想

(単位:億円)

	08/3月期予想	09/3月期予想	10/3月期予想	11/3月期予想	12/3月期予想
営業利益	15	20	30	43	50

CATV事業のARPU

ARPU(1契約あたりの月間平均利用料収入)の推移



	06/03月期	07/03月期	08/03月期予想	09/03月期予想	10/03月期予想	11/03月期予想	12/03月期予想
ARPU	3,052円	3,098円	3,300円	3,700円	4,200円	4,600円	4,800円

06年9月 CATV-
FTTH事業開始

CATV-FTTHの効果により、ARPU増進

※06/03月期、07/03月期は実績。08/03月期以降は予想。VIC TOKAI単体

「“Total Communication for the Best” 2007-2011」の目標

当社グループの技術・開発力と企画・営業力を結集し、
お客様に期待・信頼される「トータル・コミュニケーション」
パートナーとして、地域社会に貢献してまいります。

トリプルプレイサービス

インテグレーション

デジタル多チャンネル

ICT

アウトソーシング

ISPサービス

IDC

東名阪光ファイバー

CATV光幹線網

ASP

コンテンツサービス

もっとつながる明日へ
— Total Communication —

データ伝送サービス

内部統制

社会的貢献

コンプライアンス

個人情報保護

情報セキュリティ

もっとつながる明日へ
— Total Communication —



～当資料取り扱い上の注意点～

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

